



東京 雲崎 会

東京出雲崎会
会長 伊藤 勝英
発行者 東 條 玉英
〒158-0094 世田谷区玉川3-20-11-307
携帯電話 090-8008-8077

平成25年度

第15号

1月吉日

創立70周年記念総会が盛大に開催



ふるさと
とこしえ
故郷への絆は永遠に

司会体験回顧録

出中十四むつみ会
白倉 誠

歴史と故郷を愛する東京出雲崎会七十周年記念総会の大
事な二部懇親会の司会を「や
れ」と言われましたが、髪は
パーマで肩まで伸ばし「ロッ
クンローラー」の様な格好の
小生に「いつてい、何だいや」と全然理解が出来無い自分に、
大親友が言うに「お前らしく
やれ」との言葉や大先輩の丸
山名誉顧問の「改革が必要」との若い感覚に感銘を受け、
又小生を快く受入れて下さった此の会の懐の大きさに、引
き受けた次第です。

出雲崎となり、女子衆達が綺麗に見える？少し目が潤むような、何故だろう……。
東日本大震災翌日の二十三年三月十二日に総会が催行され受付を担当したが、大変な状況にも関わらず百数十名もの出席者に驚き、其の中に「九十歳」位の大先輩が御参加。連れのお孫さんに何うと「本当に故郷の人達と会える事が一番の楽しみで一年間楽しみに待って居るんです」と聞かされ、此の会は何て素敵なんだろうと感銘しました。

さて、いよいよ当日、会場に入ると「おけさ」が流れ、一瞬にして、出雲崎駅から新道に入り海の香と哀愁にも似た細長い街並と青い海原がパァーと飛び込み涙が頬を濡らす……、そんな故郷に帰って来た様な雰囲気だ。「だーすけ、こて々」が飛び交い「あの顔この顔、あの恋この恋」ガキ大将、やぶち、野球、卓球、籠球、バレー部、頭の上からない大先輩達、少し丸い二人のギャルとのコンビで進行、其の一人のギャルのおかげで「石井町の獅子」がゲストで舞う。ヤッパリ本物です。それに続けと「おけさ」で可愛い踊り手が各テーブルの間を舞い、いっしょに会場が

全国的にも一町村出身者の集う会で、会員数が「千二百名」を数え、毎年の総会に二百数十名が集い、しかも七十年の永きに渡り続けられた事は一途に「故郷を思う心」だと心から理解いたしました。それと、記念総会に御出席された方から「今迄で一番楽しかったこと」とのお言葉は役員全員に頂いた言葉ですが司会を担当した小生も本当に嬉しかったです。
津山名誉会長より「絆で継ぐ故郷と共に進まん故郷と」楽しい時間を一人でも多くの方々にお楽しみ頂くよう今年の総会を盛会とすべく今後役員全員で努力する所存です有難うございました。

会長挨拶

会長 伊藤 勝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様におかれましては、めでたく新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。



昨年は歴史ある七十周年の記念総会をはじめ故郷への記念事業を挙行させて頂き、諸先輩と会員、並びに出雲崎町関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本年は新たな一年として、故郷を同じくする

人々の心に安らぎを与えると共に、今後とも会員相互の親睦と友愛を深め福利増進を図り魅力ある会として故郷出雲崎の懸け橋と成りますよう更なる努力をさせて頂く所存です。

「こよなく、限りなく故郷・出雲崎を愛する者の集まり」の当会の発展と継続を期し、なお一層の故郷と密なる絆と連帯を願って、実践・努力・行動を重ねてまいります。

本年は昨年の七十周年を終えて記念すべき第一歩の年です。

お仲間をお誘い合せて、多勢さんでお出かけ下さいませ。

今年には故郷から羽黒町の「お獅子」が来て、獅子舞もあり、出雲崎おけさを踊って、歌って「懐かしがりや」を多めに發揮して下さい。

幹事長挨拶

幹事長 東條 玉英

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日ごろ会員の皆様には当会に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は七十周年記念総会がご来賓・会員と石井町の獅子舞・甲友会・おけさ保存会と多数の皆様にご参加頂き華やかにまた大盛況裡に行われました事、心より感謝申し上げます。



又、記念事業として六月「故郷交流バスツアー」で、小・中学校

への「記念金・贈呈状贈呈式」が町の大変な心遣いを頂戴して見事な式典として進行されました事をご報告させて頂きます。

お盆には、高島準司住友不動産会長から出雲崎のご実家に出雲崎会としてお招きを頂き、故郷を愛する大先輩との夢のような一夜のご交誼を頂きました。

今年もご縁故ある一千二百余名の会員の皆様方と共に懐かしがりやの会を老若男女が集い、おけさを踊り大漁旗たなびく故郷の再現の一日を創りましょうね。

「おめさんたあつまってくんねせや、いづんざぎ弁で話そいね」皆様の総会・懇親会参加を良寛さんの思いやりの心でお待ち致します。

「定時総会・懇親会」開催のご案内

＝平成25年度＝

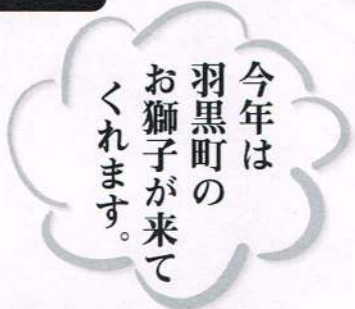
◎日時…平成 **25** 年 **3** 月 **9** 日 (土曜日)
受付開始…午前10時30分より
開会…11時30分 閉会…午後3時

◎場所…錦糸町 東武ホテルレバント東京 4階「錦の間」
(東京都墨田区錦糸1-2-2 ☎ 03-5611-5511)＝別紙案内地図参照

◎会費…合計12,000円 (年会費2,000円＋総会懇親会費10,000円)

●お問い合わせは…東條幹事長まで
(携帯電話) 090-8008-8077

FAX 03-5717-3443
Eメール: yahiko-tojo@aqua.plala.or.jp



ふる里と懐かしい顔がいっぺい！…

東京出雲崎会のホームページも、大勢の方々から楽しんで御覧頂き、誠に有難う御座います。会員相互のコミュニケーション、情報交換等の連絡の場としてもご活用下さい。毎月更新しておりますので友人・知人の方々にご紹介頂ければ幸いです。



「東京出雲崎会のホームページ」URLアドレス

<http://www2.odn.ne.jp/~chj13670/>

または

(出雲崎町のホームページにもリンクしております)

東京出雲崎会 70周年記念定時総会



70周年を祝い高島準司様からの樽酒で乾杯



お獅子の口に一万円？札が・・・



喜寿・古希・還暦を迎えた方々の校歌合唱

記念総会スナップ

東京出雲崎会の創立七〇周年を記念する「総会・懇親会」が平成二十四年三月十日（土）錦糸町駅前東部ホテルバント東京にて二百三十九名の方々の出席を頂き盛大に開催されました。先輩諸兄弟の献身的努力によって築かれた歴史と伝統に感謝し、多くの皆様のご協力を頂き、新たな決意の船出となる「総会・懇親会」となりました。



新会長を中心に（左から東條幹事長・伊藤会長・岡田副会長の三役）



出席の方々名札を手に真心の応対



抽選会で歓声のなかで笑顔が弾けました



おけさの輪が会場イッパイに広がる

越後・長岡・花の湯温泉
旬の食材 天領の里

当館は天然自噴温泉の日帰り施設で、旬の素材を使ったスローフードを提供し、お客様にゆったりとした時間を過ごしていただける施設です。

よに よいふる
TEL 0258-42-4126
〒940-2314 新潟県長岡市上岩井6964番地
(長岡市みしま体育館となり)
FAX 0258-42-4226

出雲崎の情報発信基地

天領出雲崎時代館
出雲崎石油記念館
レストラン陣や
物産館

道の駅 越後出雲崎 **天領の里**

〒949-4308 新潟県三島郡尼瀬6番地57
TEL 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770
<http://www.shidax.co.jp/tenryo/>
休館日：第1水曜日（5月・8月は無休）年末年始

新車・中古車販売
車検、钣金塗装、保険代理店

有限会社 **松浦自動車**

代表取締役 松浦良雄

工場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-18-18
展示場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西3-2-3
TEL. 03-3334-4361(代)
FAX. 03-3334-4462
メールアドレス matyy@ci.mbn.or.jp

中国料理

上海公司

シャンハイハウス

営業時間 11:30~15:00 17:00~21:30
(有) 栄 晴 定休日=月曜日
〒194-0044 町田市成瀬5056-2
TEL/FAX 042-729-2240

故郷の歓迎に感謝、交流の輪多に広がり今後も期待！

絆深めた『故郷交流懇親会』

小学校・中学校に真心の基金贈呈式を挙行

31名が出席



町の方々との懇親会（6月17日・佐平次）

当会創立七〇周年記念として故郷交流と小・中学校への基金贈呈を目的にした故郷一泊バスツアーが「出雲崎大祭」に合わせ、六月十七・十八日の二日間行われました。十七日朝、集合場所の上野公園と池袋西口からバスに乗車、途中南魚沼の「道の駅・深雪の里」で昼食をとり午後二時過ぎに出雲崎に到着。「神輿渡御」に興奮、大いに堪能しました。

三軒の宿で夕食をとり各々実家や夜店見学等で過ごした後、八時から佐平次にて小林町長など町の有識者の方々と「故郷交流懇親会」が開催され大変有意義な一時を過ごすことが出来ました。翌十八日は、町の御厚意もあつて中央公民館にて小・中学校へ各々三十万円の贈呈式が行われました。（後日両校長と教育委員長から活用方法を記した礼状が届きました）その後、良寛記念館を觀賞見学し、急遽石井神社で行われていた「太夫さん舞」を見学、六十年ぶりと言う人や「大和の大蛇」に飛び入り出演したり、なかなかバスに戻りませんでした。天領の里の陣やにて昼食をとり「また、ぜひ来てくんなせ」との強い要望の声を背に帰路につきました。



出雲崎大祭（6月17日）



良寛記念館を見学（6月18日）



太夫さん舞
（十八日）
石井神社
を見物



贈呈式後、小林町長を中心に両校長と共に記念写真（6月18日）



小学校と中学校の両校長に基金と贈呈状が手渡されました。（十八日）

大正時代からの鉱泉
ゆつたり温泉宿
民宿
勝見鉱泉
日帰り浴もOK！

出雲崎町勝見992
☎0258-78-2478

出雲崎 割烹・お宿
たまきや
三島郡出雲崎町大字尼瀬一八三
電話 〇二五八（七八）二二七

料理自慢の（良寛堂脇）
御宿まるこ
三島郡出雲崎町石井町
☎〇二五八七八（二六三

北国街道出雲崎宿
食堂浜かつ
三島郡出雲崎町羽黒町一〇〇一
電話 〇二五八（七八）二二一七

国登録有形文化財の宿

割烹 御宿

みよや

新潟県出雲崎町羽黒町一〇〇一
電話 〇二五八（七八）三二八二
FAX 〇二五八（七八）三二八二



やぶち会 出中第11回卒業(昭和33年)

「古稀を華麗に生きよう」

出雲崎中学校を卒業して、はや54年の歳月を越えて私たちは70歳を迎えました。

「古稀」も同級生の訃音の度に明日の我が身に不安を抱くならば「古稀を華麗に生きる」をテーマに歳月を刻んだ御身の健康を願い「古稀を祝う集い」を古い記憶の糸を手繰り寄せ旧交を温め「思い出の宝庫、出雲崎」で語り合っ、とても感激と感動をしました。

「みよや」さんで記念写真を撮った後、祝宴の始まりです。幼馴染みのあの友この友、お互いの健康を確認し合い山海の珍味を味わいながらの懇談です。

最初は小さな声も、飲むほどに酔うほどに活発な声になり、苦楽を共にした思い出話に華が咲き、時を忘れて語り合い、これからも80歳～100歳と共に生き抜こうとお互い誓いあって終宴しました。

とても素晴らしい思い出刻む古稀の会でした。

これからの東京出雲崎会に多くの友人と参加しようとも誓い合いました。(伊藤 勝)



その後は大変な盛り上がりとなり、会場のあちこちで車座になつての会話に皆んな夢中、時の経つのも忘れて、話し込んでしまいました。



華ふたつ添えて 嬉しや「はのいの喜寿」

昭和26年
出中卒業

天から快晴のプレゼント、新緑が眩しい。五月十三日(日)はこの会の喜寿祝賀懇親会が、越後



湯沢「花月」で賑やかに開催された。加藤進康氏の司会進行で、まず他界された同級生の冥福を祈り真光寺住職の渡辺氏の読経の許で黙祷する。続いて恩師・下村先生から「老いは年齢ではない精神の弱りから始まる。信念・希望・自信を持ち百寿を越えよう」とお祝いの言葉を頂く。佐藤憲一氏の挨拶の後、伊藤勇氏が大きな赤い盃に並々と祝酒を手に「皆さんこれからも健康に留意しよう、乾杯！」。小黒・津山両氏から町の情報や欠席者の近況報告があり、やがて花月特製山海の珍味に飲めや唄えの大騒ぎ、頃合いをみて福引抽選会、煎餅・紅白饅頭・良寛羊羹・高性能温度計・高級健康機具類の大盤振る舞い。出雲崎おけさの輪踊りで二次会へ、春宵一刻値千金。今年には金環日食・東京スカイツリー開業で思い出一杯豪華喜寿の年也。(加藤正二)



還暦祝賀会開催



平成辰巳会 (昭和43年出中卒業)

平成三十四年六月十六日土曜日午後一時三十分より、平成辰巳会(昭和二十七八八)は慈観寺にて、お厄払いを済ませ、割烹御宿みよやの前で記念写真を撮り、総勢四十五名の出席の下還暦を祝う大宴会がスタートしました。出雲崎の幹事から近況報告と還暦祝いの花火打上の説明があり、東京出雲崎会の総会参加への呼びかけもありました。出中を旅立ってから四十五年、ジャニーズ系から元祖デブヤへ変身してしまつた人が「おめさんたなつかしいね、今日は童心に還り、明るく元気に楽しく、時を過ごさね。」と高らかに乾杯の音頭をとりました。その後は大変な盛り上がりとなり、会場のあちこちで車座になつての会話に皆んな夢中、時の経つのも忘れて、話し込んでしまいました。

一次会の締めは出雲崎中学校の校歌を大合唱して終焉を向かえ、二次会はそのままカラオケタイムとなりました。三次会に行く人は当然のこととして、場所をかえて天領の里の前の「夢ふうせん」に集合し、さらに会話がはずみましたが明日は出雲崎大祭でもあり、名残惜しいけどもお開きとなりました。還暦万歳！出雲崎万歳！日本万歳！(矢部 亨)

おめでとう
ございます。

25年度は

「おめでとう」

喜寿Ⅱ「二七会」

(昭和二十七年出中卒業)

平成25年六月十七日

会場Ⅱみよや

にて開催します。

古稀Ⅱ「浜友会」

(昭和三十四年三月出中卒業)

平成25年六月十八日

会場Ⅱ脇野町・喜芳

にて開催します。

還暦Ⅱ「獅子の会」

(昭和四十四年三月出中卒業)

平成25年六月十五日

会場Ⅱみよや

にて開催します。

三年後の

古希が話題に!

去る六月三日(日) 四日月)の両日

本会の親睦旅行を挙げる。二年振りの再会とあって当初は二十二名もの参加希望が寄せられたが直前のアクシデントにより十九名での水上温泉一泊の旅と成った。お宿は水上の老舗「ひがきホテル」美人女将の迎え、挨拶を受け一次宴会に、残念ながら前回以降四名(名達・高桑・岡田・伊藤)の級友が他界。計十九名(男子十八名・女子一名)のご冥福をお祈りし献杯。思い出話と級友の消息確認でエンジン全開。続いてホテル内スナックを貸切状態で二次会開宴。女性十二人对男性七人の格別な雰囲気盛り上がり楽しい一夜と成った。翌朝は三年後の古希の記念行事に関する意見交換等行い物故者の分まで幸多き余生を誓い合い、有意義な古希記念行事が出来よう準備する事を約し無事散会した。

四会
中み
つ和
昭36
出中卒
昭
出中卒

昭
出中卒
昭
出中卒

東京浜友会の親睦旅行が十月二十一日(土・日) 十三名の参加者で開催されました。

新宿からバスで、十日町市近くのホテル「ニューグリーンピア津南」へ向かい、到着後ホテル前でゴルフ大会です、自然の芝コースで傾斜の読み違いでトンデモナイ方向にボールを打つ人など、大笑いが山にコダマしました。

夕食は、バイキングで酒は、乾杯だけに、たっぷり食べ、メインの二次会です、ブランドゴルフの賞品授与と懐かしい思い出話に花を咲かせ、カラオケは、演歌やデュエットが深夜まで続きました。

翌日は、期待の秋山郷の紅葉は、まだで樹齢八十年ブナの美女林への散策でし

た、売店に子供の頃、山で採ったアケビや山栗が有り宝物を見つけた思いで買いました。

昼食は、越後のコシヒカリを一人づつの釜炊きです、御飯がとっても美味しかった。帰路のバスの出発まで、シイタケ狩りや、ピンポンに興じたり、存分に楽しみました。

新しい試みや楽しいゲームの企画をしてくれた矢川南美子さんに喝采です。本年六月開催の「古希を祝う会」での再会を約して解散しました。(東 建一)



*散る桜
残る桜も

散る桜

(良寛)

水芭月に
友と

語らう

露天の湯

(渡邊 隆記)



フラダンスや 日舞に爆笑・歓声

会
中38
昭
出中卒

六月十六日十七日弥彦の「四季の宿・みのや」にて『六五歳お祝い懇親会』を開催、総勢四十六名が集いました。

長岡駅発の、宿の送迎バス車中でボールテージが上がる人も、宿に着き手荷物を下ろし早々に弥彦神社にて健康祈願の御祓いを行い、宿に戻って全員で記念写真を撮り、故人の冥福を祈ってからいよいよお待ちかねの宴会へ突入です。

宴会は、あの想像しがたい東日本大震災から一年、改めて『友との絆の大切さ』を更に深める絶好の機会となると共に、お互い元気で健康で再会出来た喜びを分かち合いました。宴会後半は、某方のフラダンスショー、その後手解きで皆フラ

ダンス踊り、更にカラオケ曲に合わせて○流日本舞踊の舞が飛び出し爆笑と歓声の中、何時もと違った楽しさで大いに盛り上がり、年齢を感じさせない立ち振舞で有意義な『懇親会』となりました。

終宴締めは、生歌「出雲崎おけさ」に合せ何度も輪になって踊り無事お開きとなり、その後、二次会へ十二時近くになってようやくお開きとなりました。

翌日、ロビー前で再会を誓い万歳三唱で別れました。(押見廣策)

一行御会もか歓迎



良寛牛乳

個性の花園
羽黒町会

良寛堂で共に遊んだ
竹馬の友の集い
石井町倶楽部

鮎獅子は我ら町内の誇り!
住吉町会

来た道程を共に
思い出として語り合おう
勝見尼瀬会

ふる里のお宅の除草・清掃等は
お任せください!
NPO法人 ねとねとわくきざい
出雲崎町大字尼瀬一六六番地
☎ 〇二五八―七八―三七〇〇

カラオケと輪踊りで楽しむ 羽黒町会

十月二十七日(土)午後一時より【新潟県人会館】にて「第七回羽黒町会」が開催され、老若男女三十一名が参加して盛大に行われました。初めでの会場にも拘わらず参加下さった皆様に感謝致します。丸山保さんの挨拶で始まり小川順一郎さんに乾杯をお願いし、その後皆さんそれぞれご歓談、宴もたけなわになった所で今回はカラオケを行い、皆さん自慢の「のど」をご披露され、残り三十分はもちろん「出雲崎おけさ」です。踊り手も揃い楽しく輪踊りを行いました。久しぶりに会う人等いろいろな話題で話も尽きませんでした。四時前に小林茂夫さんの閉会の辞と一本締でお開きとなりました。二次会に行く人、帰路に着く人、三々五々のお開きとなりました。(中川久雄)



住吉町会

町内の現状と昔の話題で盛上がり

あいにく雨となった十月二十八日(日)第三回住吉町会を築地の「すしざんまい・新館」で初参加の三名を含め総勢十八名で開催。今年も田舎より岡田薫さんに参加頂き、町及び町内の状況(鉛獅子作成)等の報告で会に花を添えて頂いた。宴もたけなわのころ、先輩より昔の町内の家並みの話となり、我々が幼き時から家並みは変わらないと思っていたが皆がびっくりする様な話が披露され大いに賑わった。時間も押し迫り話も尽きないなか会の余韻を残しながら来年も元気で再会しようと呼び、一人でも多くの参加を願ってお開きとなった。(細木慎司)



勝見・尼瀬会

「宝の海」に育まれ九幸せに感謝

十月二十七日(土)第六回勝見・尼瀬会が上野駅前通りの「はなの舞」に於いて三十二名の参加者で開催されました。受付開始を待ち切れずハヤバヤと数名おいでになり、出雲崎おけさのBGMが流れる中、出雲崎なまりで、お互いの元気を確かめ合い、午後一時開宴、大阪から駆け付けた方や、久しぶりに出席の方も居て笑顔の聲が弾む歓談で盛り上がりました。春は青さ摘み・夏は天草採り、浜で干して晒して、売って良いアルバイトだった・秋は空缶で磯たこ採り・冬は打ち上がったギバサ拾い、宝の海で育つたと語る八十路近い先輩の話に、うなづく顔・顔・顔でした。昔話は、午後四時過ぎまで続きました。二次会に向う人など、秋晴を背に受け、新たな思い出を胸に足取りも軽く帰途に着きました。(東 建一)




踊りと応援歌で盛会

石井町倶楽部

石井町倶楽部は十月二十日(土)新潟県人会館地下「朱鷺」で第八回懇談会を開きました。初めての会場でしたが道に迷う人もなく十二時定刻開会しました。例年より早い十月開催でしたが二十八名の参加がありました。いつものことながら多くの差し入れがあり、持参して下さいの方々とお店のご好意に感謝しています。貸切りで五卓のテーブル席を皆様適当に移動されて旧交をあたためていました。お店でおけさを踊るスペースもないと思いましたが、最後は出雲崎おけさの唄と踊り、校歌・出中応援歌の合唱と楽しい時間を過ごしました。嬉しいことに、今回も初参加の方がおられ、このペースが続くよう期待します。(大槻鈴子)



人に誠・社会に誠・仕事に誠との心で皆様とともに!

ビルメンテナンス

 SANSEI

株式会社 三 誠
 株式会社 三誠実業

代表取締役 廣瀬 吉弘
 (ねらの会/尼瀬出身)

Water
 Air

【本社】 東京都豊島区千早1-1-9 ヴェルティ千早町第2-3F
 〒171-0044 TEL. 03-3958-8200(代) FAX. 03-3958-6606
 【北関東支店】 群馬県伊勢崎市昭和町3931
 【第三誠実業】 埼玉県川口市芝田中1-35-6

CHAMPION CO., LTD.

株式会社 チャンピオン

代表取締役 吉水 久作
 (ねらの会/木折町出身)

〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-3-6 ☎ 03(3622)1615 FAX 03(3622)1552
<http://www.may-champ.co.jp> E-mail:champion@may-champ.co.jp

船まつり



出雲崎の真夏の祭典『船まつり』が回を重ね本年61回目を迎え、出雲崎漁港で開催されました。人気の「船団パレード」は午前九時十分を第一回目とし三回に分けて大漁旗を靡かせて勇壮に行われました。

その無料乗船券(定員四〇〇名)全出航分)を手に入れようと配布時間の八時二〇分にも拘らず早朝から大勢の人達で長い列が出来ていました。

九時半からは海の安全と大漁を願う「船まつり式典」が行われ、本会からは津山名誉会長と伊藤会長が列席、佐藤名誉顧問と東條幹事長も同席いたしました。

2012 夏 ぶらさし イベント

38000人で賑わう

【協賛事業】

大花火大会

夏の夜空に轟く、音と彩りの競演、出雲崎の『大花火大会』が出雲崎漁港にて午後七時三〇分から打上げられました。間近で次から次へと打ち上げられる一二七の企業や団体と個人のメッセージ花火など二八〇

の発(内スターマイン二三点)の花火に、あちこちから歓声と拍手が聞こえて来ました。東京出雲崎会協賛の超大スターマインは一〇五番目に打上げられ、真夏の故郷の夜空に彩りを添えました。



汐風ドリリー夢カーニバルV

第五回目となった『汐風ドリリー夢カーニバル』が、午後二時開場、三時からNAMARAの中静雄介・大野まさやさんの司会で「アルビレックスチアリーダー」ショーで開演されました。続いて燕市出身の本宮宏美さんのフルート演奏があり、県外でもライブ活動をしている菅PIECE(イチピース)が若さみなぎる元気いっぱい、のステージを披露したあと、NHKの大河ドラマ「龍馬伝」や映画の挿入歌などを担当したYucca(ユッカ)さんは海岸でのコンサートに感動、自身からアンコール曲を澄み切った美声で熱唱。最後は出雲崎観光大使のジエロさんが「海雪」や「越後獅子の歌」「願い」などを熱唱しました。



越後の地酒と笹だんご

本年も出店させていただきます。

新潟の地酒 (主な取扱銘柄)

久保田(朝日山) 銀の葉(越の登)
清泉(和鳥) 良寛(美の川)
他銘酒各種取り揃えております

—— 全国発送いたします。 ——

株式会社 つるや

代表取締役 荒木 啓之

出雲崎町川西58 (出雲崎駅前)

電話 (0258) 78-2233 (代) FAX (0258) 78-4236

良寛さまのお菓子本舗

良寛 上人 月之兎・良寛せんべい
良寛さまお好み 白雪糰子・うた最中

新潟県三島郡出雲崎町石井瀬293

TEL 0258-78-2101

FAX 0258-84-7211

生鮮海産物加工販売

今年もイベント広場に出店させていただきます

お土産に喜ばれる一品

- ★いかの白作り
- ★北前漬け
- ★鯖でんぶ
- ★鯖の親子漬け
- ★その他漬物

……お問い合わせ・お申し込みは下記まで……

株式会社 船橋屋商店

代表取締役 三輪 浩一

三島郡出雲崎町石井町490

電話 (0258) 78-2041 (代)

平成24年度の出雲崎町の主な出来事をご紹介します。

■6月20日(水) 町ほう賞式終了後に、福島県柳津町と姉妹都市提携25周年を記念して、姉妹都市災害時相互応援に関する協定書調印式が行われ、災害発生時に生活必需物資の提供や職員の短期応援を要請できることになりました。

■長岡市の「お福酒造株式会社」が良寛牛乳の低脂肪ヨーグルトを使ったりキュール「越後の雪どけ」を製造、7月から販売を開始し好評を得ており、今後は全国にもPRしていくとのことです。



新商品の「越後の雪どけ」

■8月15日(水) 真夏の一大イベントである船まつり・汐風ドリリー夢カーニバルV・大花火大会が出雲崎漁港を会場に盛大に行われました。勇壮な船団パレードや出雲崎観光大使ジェロさんのステージ、そしてフィナーレは大花火大会で大いに盛り上がりました。

■大正11年9月に良寛堂が建立されてから90周年を迎え、9月16日(日) 町民体育館を会場に記念式典が開催されました。全国良寛会参与で良寛堂の発案者佐藤耐雪氏の孫にあたる反町タカ子氏と良寛研究家の小島正芳氏による記念講演のあと、東京学館新潟高校書道部による「書道パフォーマンス～良寛に思いを寄せて～」が行われ、盛会裏に終了しました。

■海岸地区の宿泊施設等の5店舗がそれぞれ自慢の一品を提供し、各店舗の料理を食べ歩く「第2回出雲崎食べ歩きラリー」が9月22日(日) 出雲崎の料理と街並み散策が両方楽しめ、ひ開催を！」との声が多く寄せられま



■10月6日(土)・7日(日)の2日間、ずなV」が越後出雲崎天領の里を会場を回っている岐阜県大垣市から「水都目は「原田悠里・小金沢昇司歌謡ショ

■10月6日(土)・7日(日)の2日間、ずなV」が越後出雲崎天領の里を会場を回っている岐阜県大垣市から「水都目は「原田悠里・小金沢昇司歌謡ショ

秋の一大イベントとして定着した「きに開催されました。初日には観光交流おおがき芭蕉隊」がPRに訪れ、2日間で大いに盛り上がった2日間とな

■第2回国際グルメグランプリが10月6日(土)・7日(日) 南魚沼市牧之通りで開催され、当町から出店した「サザエの炊き込みご飯」が40店舗中、総合7位(去年は総合10位)を獲得し、2年連続ベスト10入りを果たしました。連続でベスト10入りしたのは当町を含め4品目しかなく、出雲崎の「サザエの炊き込みご飯」人気の高さがうかがえます。ぜひ一度ご賞味ください。

■「第7回出雲崎の四季フォトコンテスト」の審査会が11月19日(月)に行われ、最優秀賞に小坂井五郎氏(見附市)の「良寛の夏」が選ばれました。この作品は1月の新春物産市(会場:表参道新潟館ネスパス。日程:19~20日)で展示しますので、ぜひご覧ください。

■12月8日(土)・9日(日)の2日間、上野恩賜公園を会場に「えちご長岡・佐渡広域観光フェア」が開催され、当町からは鱈の親子漬け等の特産品やアンコウ汁を販売し、出雲崎の海の幸を大いにアピールしました。



「サザエの炊き込みご飯」に長蛇の列

■1月19日(土)・20日(日)の2日間、表参道新潟館ネスパスを会場に「越後出雲崎新春物産市」を開催します。数々の出雲崎の特産品、アンコウ鍋にアンコウの吊るし切り実演、フォトコンテストの優秀賞以上の作品展示など、出雲崎一色の物産市にお出かけください。

(出雲崎町・産業観光課)

やんちゃ・和み・ごや
かねこオリジナル
(有限会社 金子種物)
出雲崎町川西一〇四一六
☎〇二五八(七八)二三三七

安心と信頼の技術！
岡田車体製作所
東京海上日動火災保険(株)代理店
出雲崎町大字松本一六三一一
電話 〇二五八(七八)四一一二
FAX 〇二五八(七八)四二二〇

カフェレストラン
夢ふうせん
出雲崎・天領の里向い
☎ 0258(78)3457

出雲崎名物浜焼
石井鮮魚店
三島郡出雲崎町羽黒町四七五一一
TEL 〇二五八(七八)二二二五
FAX 〇二五八(七八)二〇八九

旬の味わい、季節を食す。
割烹・なごみの宿
佐平次
新潟県三島郡出雲崎町羽黒町 111-1
TEL 0258-78-2116
FAX 0258-78-4714

故郷への理解と

応援実行を思考

第三回目の交流会が九月八日(土) 県人会館にて開催されました。

交流会の目的は次世代継承者に「会」の理解と人脈創り等の相互利点としております。伊藤会長挨拶で始まり全員が簡単な自己紹介を行い、津山忠夫氏と新津郁夫氏の両リーダーからお話があり新津氏からは参考資料をもとに故郷への熱い提言がなされました。「故郷との連携・絆」が標榜だけでなく、出雲崎会員の故郷への理解と、出来ることを実行し応援することの大切さを強く感じた会合となりました。(東條玉英)



平成二十三年九月二十七日、皆んなに惜しまれながら急逝した内藤久吉前会長(享年71)のお別れの会が平成二十四年二月四日(土)午後四時から錦糸町の東武ホテルレバント東京で執り行われました。

内藤前会長・お別れの会

当日遺族で喪主の内藤久保様をはじめ、良寛に学ぶ会や良寛記念館の代表の方々や故人の同級会「辰巳会」の皆さん、それに主催の東京出雲崎会の役員等総数五十名の方々にお集り頂きました。

出雲崎おけさの流れるなか、黙禱献花、主催者挨拶、追悼の辞、ご遺族挨拶、献杯後施食会となり、参列者紹介では故人とのつながり、絆、思い出話等、尽きぬ想いのお別れ会となり、最後に閉会の辞で散会となりました。「故人のお人柄が偲ばれる、あたたかな良い会でした。」との感想でした。

内藤久吉さんが亡くなられてから早や一年、一周忌を心から回向し筆をとらせていただきました。合掌

平成二十四年九月末日 津山 忠夫

皆さんに喜んで頂ける会報作成に全力

本誌編集委員(写真)の皆さんは、会員の方々に喜んで頂ける紙面作り日々挑戦しております。

年四回開催される編集会議を中心に活発な意見を交わしながら紙面内容の割り振りや記事の選択。原稿と写真の収集と校正作業等に取組んでおります。

皆様からの情報を心からお待ち致しておりますのでご意見・ご要望等お寄せ下さい。





株式会社 パレオサイエンス
Paleo Science Corporation

代表取締役社長 中川 久雄

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目11番14号 赤坂ベルゴ511
TAL: 03-5575-3651 FAX: 03-5575-3652
E-mail: info@paleo-science.co.jp

名称: ディノニクス
産地: 北アメリカ
時代: 白亜紀前期

先進ニーズへの「ご提案」と「環境調和」がコンセプトの会社です。



サイン&ディスプレイ製作・施工



《企業理念》家づくりは
人づくり
喜びづくり
感動づくりである

日本住宅総合サービス(株)

代表取締役 伊藤 勝
(東京やぶち会/勝見出身)

〒136-0076 東京都江東区南砂6-11-17 TEL 03-3648-8575 FAX 03-3648-1966

有限会社 東條工芸

代表取締役 東條 國榮
(出中十四むつみ会/岩船町出身/湊湯・二男)

〒121-0831
東京都足立区舎人2-9-1-203
TEL 03-3857-0627
FAX 03-5647-6172
携帯 090-1656-3131
E-mail: tojo-kougei@dc4.so-net.jp
【江戸川工場】
東京都江戸川区中央3-6-14

ご紹介 ください!

東京出雲崎会では、只今、新会員を募集中です。
皆様のお近くに出雲崎出身の方がおられましたらご紹介下さい。
特に30代~50代の方々には参画頂きたく、皆様のご協力よろしく
お願い致します。 組織委員会

春 夏 秋 冬

歌壇・俳壇

鮭と酒 提げ来し兄貴 訪ねけり 松 本 登美子	遠き日の ふる里偲ぶ 雪時雨 岡 田 齊	若菜萌え 心浮きまっ 朝の顔 細 木 慎司	船泊まり 一陣の風 春疾風 津 山 忠夫	稲穂見て 遠い故郷の 我思う 白 倉 誠
----------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------



盛り沢山の差入に感謝

夕渚会 (昭和四十年出中卒業)

十一月十日赤坂で、何と二十七回目の「東京談話会」が開催され、二十三名が出席しました。

昨年とは逆に女性が多く、長岡からも三人の美女が駆け付け、盛り上がりました。

残念なのは、いつも出席の男性が何人か体の具合が悪くて欠席だったことです。

なかでも出雲崎で会長をやっている太田修治君の欠席は皆をがっかりさせました。

手土産のサザエの串焼きが食べられないことが原因の一つのようで……。

でも、宮城県亘理町の星和子ちゃんから美味しい笹かまぼこが届き、皆大喜び、現金なものです。

その他差し入れ盛り沢山の品々。特別なウイスキーや日本酒・お漬物・えご・お菓子等々嬉しい品々。そして、みんな笑顔で声の生き生きとしていること!!。幸せなひと時でした。今年欠席でも、元気に又来年来て欲しい!。不思議な一日である。みんなに感謝!。(今井 妙)

平成25年度の事業予定

- 2月 2日 (土) 役員会 定時総会役割分担・本年度活動方針 他
- 3月 9日 (土) 25年度 定時総会 錦糸町駅前 東武ホテルレバント東京 & 懇親会
- 4月 13日 (土) 役員会 定時総会の結果報告と反省 新年度活動方針の審議 来年度総会会場等の打合せ
- 7月 4日 (土) 各委員会・役員会 行事参加と出費審議 諸行事報告と取りまとめ 他
- 8月 15日 (木) 船まつり・花火大会 (予定)
- 8月 16日 (金) 出雲崎町成人式 (予定)
- 9月 14日 (土) 各委員会・編集会議 (会報第16号合同会議) 第4回・交流会
- 10月~11月中 会報発行準備及び原稿締め切り
- 12月 7日 (土) 役員会 来年度総会の件 会場案内状の件 編集会議(会報16号)・各行事参加報告 他
- ……………平成25年度「新潟県人会関係」他……………
- 1月18日 (土) 新年祝賀会……………10時30分 椿山荘
- 3月00日 (日) 新潟出雲崎会「総会」…新潟市・秋やま分店
- 7月00日 納涼大会……………10時30分 椿山荘

年会費の納入に

ご協力を!

当会が淀みなく運営されるのも、皆様からの年会費が大きな役割を果たしております。

心より感謝申し上げます。

又、今回の定時総会に都合で欠席される方々には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振替用紙にてお振込下さいませよう謹んでお願い申し上げます。

会計委員会

「編集後記」

創立七〇周年の記念事業として「故郷バスツアー」に参加。交流懇親会や小・中学校への感謝を込めての記念金贈呈式等を通して町の皆さんから熱烈な歓迎を受けました。私たちは、故郷から離れ、故郷を思う気持ちから、いろいろな発言をすることもあります。私たちの思いは、言葉も大切ですが、それ以上に行動することによって信頼が生まれ、その信頼関係があつてこそ「絆」といえるのではないかと痛感しました。(H・O)